



# 平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社スノーピーク  
 コード番号 7816 URL <http://www.snowpeak.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山井 太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 野口 正城 TEL 0256-46-5858

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	5,053	4.1	147	74.0	163	66.7	27	89.8
28年12月期第2四半期	4,854	27.7	568	106.9	491	80.0	265	86.2

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 25百万円 (89.4%) 28年12月期第2四半期 244百万円 (71.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	3.89	
28年12月期第2四半期	37.87	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	9,557	4,400	45.9
28年12月期	8,299	4,441	53.3

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 4,387百万円 28年12月期 4,425百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		15.00	15.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	5.2	340	60.1	356	55.8	136	71.8	19.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) 株式会社スノーピークグランピング  
株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	7,040,000 株	28年12月期	7,040,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

29年12月期2Q	41,502 株	28年12月期	51,831 株
-----------	----------	---------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期2Q	6,994,247 株	28年12月期2Q	7,006,588 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年6月30日)における世界経済は、不確実性があるものの堅調に推移し、日本経済におきましては、緩やかな回復基調で進みました。当社グループの属するアウトドア業界におきましても、引き続き堅調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、既存事業の拡大と新規事業の推進、オペレーションの革新に取り組みました。

国内における既存事業の拡大としましては、北陸3県初の直営店である「スノーピーク香林坊東急スクエア」を4月に出店し、第1四半期会計期間に引き続きインストアを4店舗出店するとともに2店舗の退店を実施いたしました。また、北海道帯広市に国内4か所目となるキャンプ場「スノーピーク十勝ポロシリキャンプフィールド」の営業を開始いたしました。

新規事業の推進としまして、アパレル事業は第1四半期会計期間に引き続き順調に進捗しております。6月には、イタリアのフィレンツェで行われた世界最大級のメンズファッション見本市であるPITTI UOMO、フランスのパリで行われたファッション合同展示会であるMAN PARISに出展し、ヨーロッパでの活動を増やしました。アーバンアウトドア事業におきましては、愛知県小牧市および岩手県紫波郡にショップインショップを出店する等、堅調に推移しました。その他の新規事業としましては、4月20日に銀座にオープンしたラグジュアリーな大型商業施設「GINZA SIX」内に、モバイルハウスを提案する新業態の直営店「スノーピークモバイル銀座」をオープンいたしました。また、京急電鉄グループと提携し、当社グループの手掛ける初めてのグランピング施設「snow peak glamping 京急観音崎」を都心から約1時間程に位置しながら美しい自然に囲まれている三浦半島エリアにオープンいたしました。

海外各拠点におきましては、米国では初のショップインショップを期間限定で5店舗出店いたしました。従来は直営店を除くと、多彩な商品群によるスノーピークの世界観を店頭では表現しきれておりませんでした。ショップインショップによる店内での面での提案、店頭及び店外でのイベントの実施を積極的に進め直接エンドユーザーに働きかけました。台湾および韓国においてもキャンプイベントや店頭でのイベントを強化し、6月の雪峰祭では過去最高の人入りとなりました。

オペレーションの革新としましては、「スノーピーク Operation Core HQ2」およびSAPが稼働を開始し、事業規模と事業領域の拡大に併せたより効率的なオペレーションの構築に着手しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は5,053,023千円(前年同期比4.1%増)となりました。前年同期に大きく伸長した国内の売上高が前期比微増となった一方、海外各拠点では、米国では依然として厳しい状況にあります。台湾では10%超の成長、韓国でも昨年までの傾向から反転して増収となっております。売上高の成長が計画値より限定的になったことに加え、昨年度から今年度にかけて、直営店の出店、スノーピークOperation Core HQ2、SAPといった将来の成長を見据えた戦略的な投資を実行したことから、固定費が増加し、営業利益147,860千円(同74.0%減)、経常利益163,429千円(同66.7%減)となりました。スノーピークOperation Core HQ2を新設したことから旧物流センター(新潟県三条市)の減損損失を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は27,195千円(同89.8%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ1,258,711千円増加し、9,557,830千円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加209,670千円、現金及び預金の減少12,139千円等により前連結会計年度末に比べ421,244千円増加して3,903,024千円となり、固定資産は、3月から稼働を開始した「スノーピークOperation Core HQ2」に伴う建物及び構築物の増加1,637,870千円等により、前連結会計年度末に比べ837,467千円増加し、5,654,806千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1,300,137千円増加し、5,157,379千円となりました。流動負債は、短期借入金の増加1,550,000千円等により前連結会計年度末に比べ1,413,394千円増加して3,047,177千円となり、固定負債は、長期借入金の返済による減少168,534千円等により、前連結会計年度末に比べて113,256千円減少し、2,110,201千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加27,195

千円のほか、配当金の支払いによる利益剰余金の減少105,577千円等により、前連結会計年度末に比べ41,426千円減少し、4,400,451千円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,146,170千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、174,451千円となりました。これは売上債権の増加209,683千円、法人税等の支払額263,489千円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上92,207千円、減価償却費の計上209,277千円があったこと等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,099,139千円となりました。これは直営店の出店、新設するオペレーションセンターの有形固定資産の取得による支出862,197千円があったこと等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、1,261,286千円となりました。これは、短期借入金の増加1,550,000千円及び長期借入金の返済による支出179,605千円、配当金の支払額105,078千円があったこと等によるものであります。

#### (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は36,155千円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第3四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、SAP基幹システムへの切り替えの不具合による受注の機会損失による売上減少、新拠点「スノーピーク Operation Core HQ2」の稼働開始に伴う、従来の物流センターの減損の特別損失計上等により、平成29年2月9日公表の業績予想を下方修正いたしました。詳細につきましては本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,160,120	1,147,980
受取手形及び売掛金	907,581	1,117,252
商品及び製品	1,168,300	1,144,927
仕掛品	24,003	43,019
原材料及び貯蔵品	39,306	58,417
その他	186,936	396,163
貸倒引当金	△4,468	△4,736
流動資産合計	3,481,780	3,903,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,533,622	3,171,492
その他(純額)	2,284,945	1,248,438
有形固定資産合計	3,818,567	4,419,931
無形固定資産		
その他	418,870	449,280
無形固定資産合計	418,870	449,280
投資その他の資産		
その他	579,901	785,594
投資その他の資産合計	579,901	785,594
固定資産合計	4,817,339	5,654,806
資産合計	8,299,119	9,557,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	127,009	230,047
短期借入金	355,000	1,905,000
1年内返済予定の長期借入金	352,068	340,997
未払法人税等	263,368	107,048
その他	536,337	464,084
流動負債合計	1,633,783	3,047,177
固定負債		
長期借入金	1,381,552	1,213,018
製品保証引当金	168,153	184,132
ポイント引当金	119,506	145,139
退職給付に係る負債	18,502	25,029
資産除去債務	91,422	102,705
長期未払金	415,663	415,663
その他	28,656	24,514
固定負債合計	2,223,458	2,110,201
負債合計	3,857,241	5,157,379
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	99,520	99,520
資本剰余金	2,453,118	2,453,118
利益剰余金	2,058,018	1,979,636
自己株式	△188,485	△150,248
株主資本合計	4,422,171	4,382,025
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,787	5,595
その他の包括利益累計額合計	3,787	5,595
非支配株主持分	15,919	12,830
純資産合計	4,441,877	4,400,451
負債純資産合計	8,299,119	9,557,830

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,854,844	5,053,023
売上原価	2,491,086	2,517,706
売上総利益	2,363,758	2,535,316
販売費及び一般管理費	1,795,706	2,387,456
営業利益	568,051	147,860
営業外収益		
受取利息	98	317
持分法による投資利益	—	1,910
為替差益	—	14,158
その他	13,332	10,661
営業外収益合計	13,430	27,047
営業外費用		
支払利息	2,742	3,799
債権売却損	4,494	3,943
為替差損	76,696	—
シンジケートローン手数料	3,260	3,435
その他	2,814	301
営業外費用合計	90,007	11,478
経常利益	491,474	163,429
特別損失		
減損損失	—	70,171
固定資産除却損	3,370	1,050
震災関連損失	18,138	—
特別損失合計	21,509	71,221
税金等調整前四半期純利益	469,964	92,207
法人税、住民税及び事業税	281,029	107,169
法人税等調整額	△76,422	△39,067
法人税等合計	204,607	68,101
四半期純利益	265,357	24,105
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△3,089
親会社株主に帰属する四半期純利益	265,357	27,195



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	265,357	24,105
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△21,221	1,808
その他の包括利益合計	△21,221	1,808
四半期包括利益	244,135	25,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,135	29,003
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△3,089

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	469,964	92,207
減価償却費	137,376	209,277
減損損失	—	70,171
固定資産除却損	3,370	1,050
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△410,284	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	20,540	15,978
ポイント引当金の増減額(△は減少)	16,858	25,547
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,136	6,400
受取利息及び受取配当金	△98	△319
支払利息	2,742	3,799
為替差損益(△は益)	6,928	345
持分法による投資損益(△は益)	—	△1,910
売上債権の増減額(△は増加)	△312,338	△209,683
たな卸資産の増減額(△は増加)	△236,798	△13,241
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,229	103,643
その他の資産の増減額(△は増加)	△14,840	△210,814
その他の負債の増減額(△は減少)	529,250	63,363
その他	59,021	△63,302
小計	269,601	92,511
利息及び配当金の受取額	98	319
利息の支払額	△2,772	△3,793
法人税等の支払額	△159,554	△263,489
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,373	△174,451
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△610,668	△862,197
無形固定資産の取得による支出	△219,878	△74,969
投資有価証券の取得による支出	△27,500	△15,000
敷金及び保証金の差入による支出	△91,525	△140,352
その他	△56,130	△6,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,005,702	△1,099,139
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	20,000	1,550,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△102,234	△179,605
リース債務の返済による支出	△5,959	△4,029
自己株式の取得による支出	△80,155	—
配当金の支払額	△35,236	△105,078
財務活動によるキャッシュ・フロー	296,414	1,261,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,761	164
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△607,677	△12,139
現金及び現金同等物の期首残高	2,106,881	1,158,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,499,204	1,146,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、アウトドアライフスタイル事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。